

# 2019年度 学校と経営者の交流活動推進委員会 活動報告 概要

## 取りまとめの目的

- 学校からのフィードバックを踏まえ、出張授業等の質をさらに向上するとともに、より多くの本会会員各位の参加・協力を得て活動を充実させていく。さらに、本会での政策委員会における議論・提言の一助とする。
- 経営者の視点からの気づきを、政府や学校の教育政策・教育活動の参考としてもらう。

## 活動紹介

- 本会会員による次世代の育成・教育のための具体的な活動として、1999年から「学校と経営者の交流活動」を展開。
- グローバル経済の最前線にいる経営者の経験に基づき、教員には伝えられない世界や社会の変化等を児童、生徒、学生、教員、保護者、地域の方々に直接伝える無償の活動。首都圏に限らず、地方の学校等にも拡大している。
- 活動開始以来、2019年度までの出張授業等の実施件数は約2,100件、派遣講師数は延べ約4,300人。生徒からの感想文等によるフィードバックあり。先生方からの評価の声や、教職員向け研修の依頼もある。
- 経営者も教育現場から多くの学びを得ており、今後もグローバル社会や学校を取り巻く環境の変化を意識しながら、次世代育成、学びを支える学校・先生方の支援、保護者・地域の方々とのコミュニケーションを充実させていく。

## 主な活動 (P.2～)

### 出張授業

小学校5・6年生、  
中学生、大学生



### <主なテーマ>

職業観、多様な社会、グローバル社会で生きる、社会を考える、世の中を知る、社会に必要な力、企業のSDGsへの貢献、起業について。

### 教員研修等

一般教員、管理職、校長研修、  
PTA会合等



### <主なテーマ>

企業の人材育成と組織間マネジメント、企業からみた学校教育への期待、少子化における産業界と教育界の連携のあり方。

### 教育フォーラム

中学生、中学校の教員、  
中学生の保護者



### <メインテーマ>

「より良い社会を創るために私たちができること」  
多様な学校の生徒、教員、保護者によるグループディスカッションを実施。

## 出張授業・講演等の有意義な活用のポイント (P.14～)

- 事前の認識・目線合わせが大切(目的、期待内容等)  
経営者による出張授業や教員研修に期待する内容・希望を事前に確認することで、より高い効果が期待できる。中には、経営者が事前に学校を訪問して先生と打合せを行ったり、逆に先生が企業を訪問したり、事前に資料の擦り合わせを行うなど、協力しながら進めるケースもある。
- 経営者による出張授業はキャリア教育に留まらず、教科単元内における活用事例もある。(P.21)

## 出張授業等へのフィードバックから見えた 教育現場の5つの課題と本委員会活動への示唆 (P.7～)

2019年度の出張授業・教員研修の実施先および本委員会委員によるフィードバックを整理  
(有効回答：学校等39件、委員55名)

### 1. 学校(生徒、教員)と社会との繋がりが

課題：先生方から、生徒の視野が狭い、学校での学びを社会で生きることにつながるイメージを持ってない、教員自身もグローバル社会を意識する機会が少なく、生徒に伝えられないとの声が聞かれた。  
対応：今後は、グローバル経済の最前線にいる経営者の経験をより臨場感を持って伝えるとともに、企業訪問の機会提供も検討する。

### 2. 知識偏重、受験のための学びから、未来を生きるための学びへの転換

課題：先生方は、知識偏重の学びから自分で考え判断しながら生きていく力を身につけるための教育への転換の必要性等を認識しているが、多忙等により対応が追いつかないことへのジレンマが感じられた。  
対応：学校の要望に応じながら、双方向の対話形式の出張授業等を増やすことで、生徒が考え、発信する機会を提供する。

### 3. ニーズの多様化と負担感の増大に対応した学校経営のあり方と教員の不安

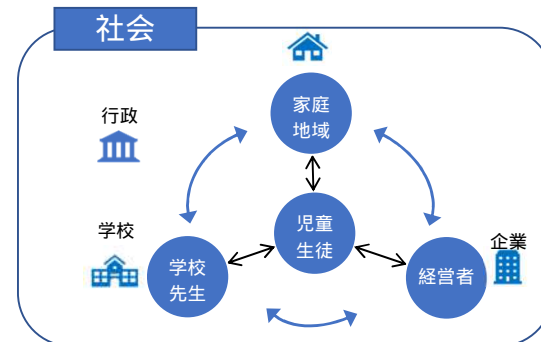
課題：先生方からは、複雑化・多様化する課題に対応するため、「チームとしての学校」の実現、管理職層のリーダーシップ、教員の働き方改革の実現、校長からは、最新の経営理論を学校経営の参考にしたいとの声が寄せられた。また、社会が期待する新しい教育に対応できるのか不安を抱えていることも分かった。  
対応：中学生を対象とした「教育フォーラム」に加え、多くの悩みを抱える教員に経営者が寄り添う「教員フォーラム」の開催を検討する。

### 4. IT環境の整備

課題：学校と経営者の双方から、IT環境の充実や専門人材の配置を通じた先進的な教育の実現や教員の事務負担軽減を期待する声が寄せられた。  
対応：本会として、学習用端末の一人一台化や学校・家庭の通信環境の早期整備を政府に働きかけるとともに、本活動では、遠隔授業等も検討していく。

### 5. 保護者・地域との連携

課題：社会の変化や子どもたちが将来社会を生き抜くために必要な資質・能力に対する保護者・地域の関心の低さを指摘する声もあった。経営者からは、教育を学校に任せきるのではなく、寝等の家庭教育は保護者の役割であること、子ども自身で考え選択する経験をさせてほしいとの声があった。  
対応：これまで限られた接点しかなかった保護者・地域住民とのコミュニケーションの機会を増やしていく。



<参考> 交流活動に関する設問への回答

- 経営者による出張授業・講演を実施した満足度は、大変満足34件、満足5件。
- 出張授業・講演の内容は目的に沿っていたかは、沿っていたが39件。
- 生徒や受講者にとって理解が難しい表現や配慮が必要なこと等はあったかは、あった2件、無かった36件、無回答1件。